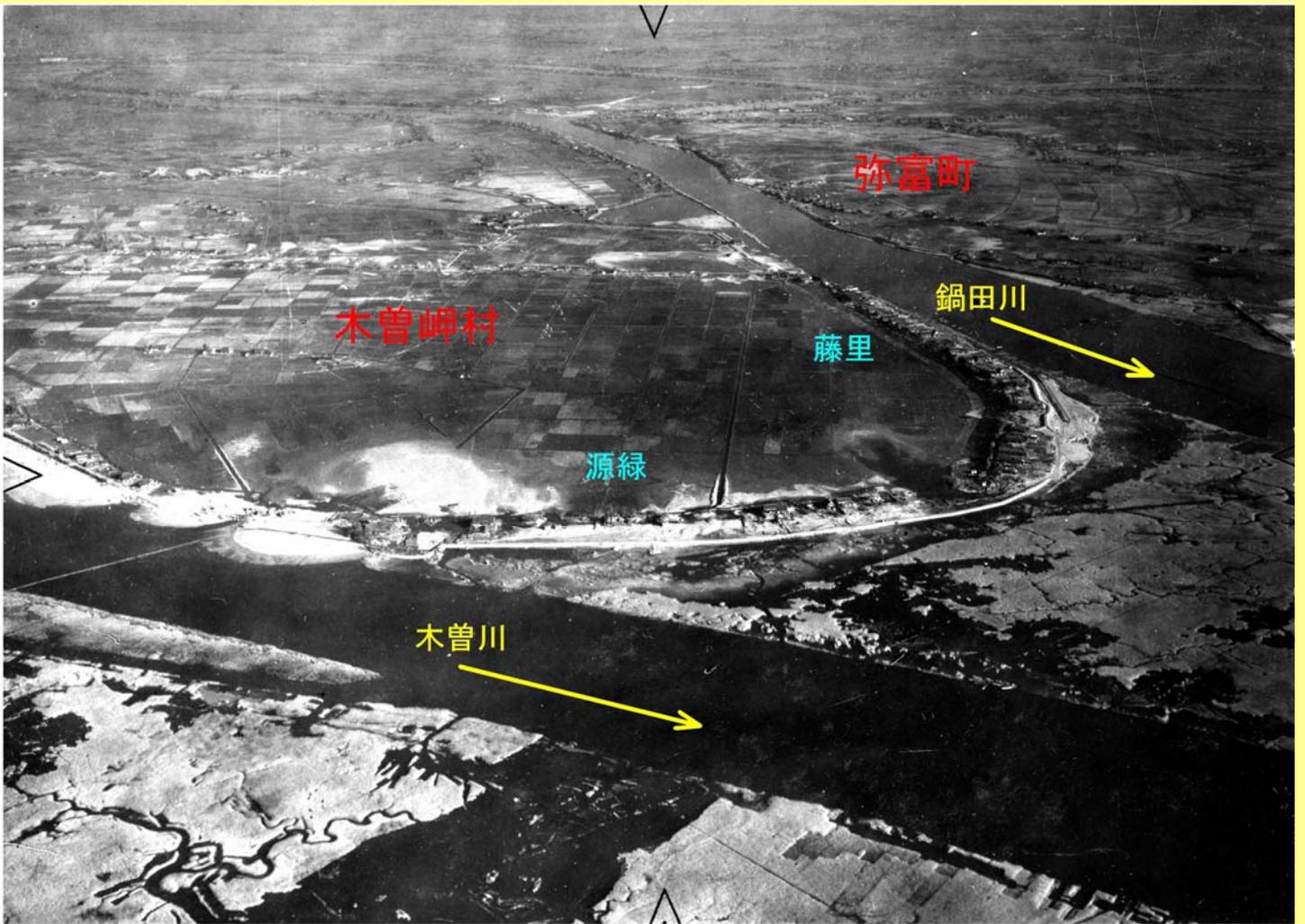


# 伊勢湾台風写真台帳



写真名称： 木曾川河口、木曾岬村南部を上空南西方向から望む（排水後）

現地状況、コメント等

エリア： 三重県

撮影箇所： 弥富町、木曾岬村

撮影日： 1959年

撮影者： 陸上自衛隊

資料提供者： 中部地区自然災害科学資料センター

状況： ー

〔被災した方の所見（木曾岬村）〕  
 木曾岬村南部の状況であり、海岸堤防の破堤部が見られる。写真中央部は、現在、源緑輪中と呼ばれているが、当時は藤里輪中とも言った。昭和34年当時は、それ以前の状況から、まさか堤防が決壊し、自宅が浸水する被害に遭うとは思っていなかった。木曾岬村堤内地の浸水は、11月中旬まで続いていた。我が家では、子供が小さく、抱き上げてどうしようと思っているアツという間に水深が深くなり、2階に避難して助かった。着の身着のまま何も持ち出すことが出来なかった。なお、輪中内にある源緑では死者が多く出たが、水屋のある家が5軒ほど有り、水屋のある家は家族が助かった。消防団で伊勢湾台風の活動時に亡くなった人もいる。

撮影位置



※国土地理院発行地形図を使用